

# いちめんのなのはな

令和2年6月23日(火)  
こうちょう すすき まこと  
校長 鈴木 誠

## 不審者対応訓練・体験型防犯教室 - 6月15日(月) -

岡崎警察署から愛知県警察スクールサポーターさんや岡崎市役所安全安心課から講師の方をお招きして、不審者侵入に対する避難訓練を実施しました。

昇降口から2年1組に不審者が侵入したとの想定で訓練を始めました。子供たちは無言で先生方の指示に従って迅速に避難することができました。しかし、安心したのでしょうか、避難後に他の学年が避難しているにも関わらず話し声が聞こえる場面がありました。また、合わせて、職員が駆け付けて不審者を制圧する訓練も行いました。

第一避難所である運動場に待機したのち、市役所安全安心課の講師さんから、不審者から身を守る要点「つみきおに」を教えていただいたり、不審な人と感じたら距離をとることが大切であることを教わったりしました。

- ①いて いかない
- ②みんなと いつも いっしょ
- ③きちんと しらせる
- (行先、同行者、帰宅予定、起こったこと等)
- ④おごえで たすけを よぶ
- ⑤げる

避難訓練のあと、2, 3年生が「体験型防犯教室」を受講し、下の3つのことを学級ごとに練習しました。

- ・後ろから抱き着かれたら、即座に両手をあげながらしゃがみ、すぐに立って20mは走る
- ・追ってくる人から逃げながら防犯ブザーをならす
- ・「助けて」を大声で叫ぶ(声の大きさを測定)

「いざ」というときが来ない方がよいのですが、子供たちの緊急時への対応力が高まっていることを願います。



本年度は臨時休業があり、1学期の避難訓練は今回のみとなります。そこで、私からは「地震や火事などの場合も、こうして運動場などに避難します。大切なことは、先生の言うことをよく聞くことです。押さない、走らない、しゃべらない、戻らないの『お、は、し、も』で自分の命を守りましょう」と伝えました。

## 「読書に親しむ子供」を育みたい

- 6月19日(金) -

雨の日の図書室、長放課や昼放課にはいつも以上に多くの子供が利用しています。本を借りる子、借りた本を返す子、本を読む子、どんな本があるかと書架をめぐる子、様々です。

昨年度の12月に行った保護者と児童に対して実施した学校診断アンケートでは、「進んで本を読んでいる」の項目で、「よくあてはまる・ほぼあてはまる」との回答が保護者43.2%児童66.7%でした。子供たちの認識と御家族の認識（「期待」でもあるのだと思います）に大きな違いがあることも含めて、「読書に親しむ」ことは改善したい項目の一つです。そして、雨の日の過ごし方の一つに図書室の利用があることをうれしく思います。今後も読書週間を設けるなどして「読書に親しむ子供」を育てていきたいと思っています。御家族の皆様のご理解と御協力をいただけると幸いです。



貸出・返却に対応する図書委員と本に親しむ子供たち



子供が手にした本の山、消毒を待つ

また、図書室の利用に関して、例年と大きく違っているのが、子供たちが触れた本を書架に戻す作業です。子供たちは、触れた本を箱に入れます。それらは、子供たちの下校後に一冊ずつ消毒された後に水拭きされてから書架へ戻されています。

雨の日には、本が山のように積まれます。積まれた冊数は子供たちが本に親しんだ証です。職員だけでなく、それを喜ぶ気持ちを共有してくださる「ちゅらぼ」の皆様の御協力もあって、円滑に図書室が運営できていることに感謝しています。

## トウモロコシが芽を出した

- 3,4,5組生活単元 6月22日(月) -

6月16日(火)、3・4・5組の子供たちが、ふれあいドームに出掛けました。先日話し合っただけ、これから育てるトウモロコシの種を購入するためです。子供たちは対応して下さった方に助言を求め、「柔らかくて風に強い」品種を選びました。買い物から帰った子供たちは記録カードに



おすすめの種は…



健やかな成長を願って観察

「早く種を植えて育てて食べたいです」

「種を植えてからどんなふうになるのか楽しみです」などと記し、さっそく種を蒔きました。

そうした気持ちが通じたのでしょうか。週明け6月22日(月)、登校する子供たちを待っていたのは、トウモロコシの発芽でした。自分たちが植えた種がちゃんと芽を出したことを喜んだ子供たちは、熱心に観察して記録をしました。

苗を育てる、畑を耕す、苗を畑に植える、毎日の水遣りをする、たくさんの手間と愛情を毎日注いで、収穫の喜びを味わってほしいと願っています。